

Accell/IDS ELS Release 8 (Unix) インストールガイド

インストールの前に

- ・本リリースをインストールし動作させるには、弊社発行のライセンスキーが必要になります。まず、本リリースに添付されている「**ユーザ登録書 (ライセンスキー発行依頼書)**」に必要事項を記入の上、FAXにて弊社までご返送下さい。折り返し、ライセンスキーを発行致します。
- ・本リリースをインストールするには、およそ 34MB のディスク容量が必要になります。インストールする前に、十分な空きディスク領域を確保するようお願い致します。

Accell/IDS ELS のインストール

次の手順にしたがってインストール作業を行ってください。なお、作業はスーパーユーザで実行します。もし、ご不明な点がございましたら、お買い上げいただいた代理店もしくは弊社サポートセンタまでご連絡下さい。

CD-ROM からのインストール手順

以下は、CD-ROM からインストール行う場合の実行手順です。インストールを実施するマシンの OS が HP-UX の場合に限り特別な手順でインストールを実行しますのでご注意ください。

HP-UX の場合

HP-UX 用の CD-ROM では、tar 形式でリリースが提供されています。

1. まず、次の方法で CD-ROM ドライブをマウントします。

例：`mount -F cdfs /dev/dsk/c0t0d0 /cdrom`

ドライブ名と CD-ROM のマウント方法については、システムにより異なりますので、各システムのマニュアルをご参照下さい。

2. 次に上記の「**テープからのインストール手順**」に従ってインストールを行います。

但し、ステップ 3 のリリースの読み込み方法で指定する `device_name` は `/cdrom/AIDS.TAR*` と読み替えて下さい。従って、ステップ 3 の内容は次のようになります。大文字のファイル名の後にアスタリスク (*) を付けます。

```
tar xvbf 20 /cdrom/AIDS.TAR*
```

または

```
remsh remote_host dd if=/cdrom/AIDS.TAR* bs=20b | tar xvbf 20 -
```

HP-UX 以外の場合

CD-ROM からインストールを行う場合には、CD-ROM をマウントし、そのマウントした CD-ROM のリリースのディレクトリから直接インストールプログラム(install/install)を実行します。その後は、インストーラのガイドにしたがって、インストールを実行します。

1. CD-ROM をマウントします。

CD-ROM のマウントの方法については、システムにより異なりますので、各システムのマニュアルをご参照下さい。

2. マウントした CD-ROM のディレクトリに cd します。

```
cd /cdrom
pwd
/cdrom
```

3. ls でファイルのリストを確認すると、システムによってはボリューム名が表示されますので、そのボリュームに cd で移動すると、カレント・ディレクトリがリリースのルート・ディレクトリになります。

```
ls
accell_ids ( ボリューム名 )
cd accell_ids
pwd
/cdrom/ accell_ids
ls
README          include          odbc_clients    unsup
bin              install          odbc_doc         web
conv            lib              tutorial
```

(上記の状態、リリースのルート・ディレクトリがカレントディレクトリとなりました)

4. ディレクトリ/usr/unify を新規作成し、パーミッション 777 を付与します。このディレクトリ下にはインストールの実行によりライセンス情報関連ファイルが作成されます。

```
mkdir /usr/unify
chmod 777 /usr/unify
```

5. umask を 000 に設定してください。

```
umask 000
```

6. インストール・ユーティリティを実行します。

install/install

7. 以下のメッセージが表示されます。y を入力してください。

```
Checking for CD-ROM installation media.
The directory /cdrom/accell_ids is not writeable.
Do you want to copy the release to a different location <y/n>?
y
```

8. リリースをインストールするディレクトリ名（例/home/aids）を入力します。

```
Enter the destination (target) directory.
If the directory does not exist, it will be created for you.
Target directory:
/home/aids
```

- 9-1. 指定したディレクトリが存在しない場合は新規に作成されますので、y を入力してください。

```
The target directory /home/aids does not exist.
Do you want to create it <y/n>?
y
```

- 9-2. 指定したディレクトリが既に存在する場合は、そのディレクトリ下の全てのファイルが削除され、インストールが実行されます。削除しても問題が無い場合は、y を入力してください。削除すると問題がある場合は、n を入力しインストールを中断します。リリースをインストールするディレクトリ名を変更するか、または必要なファイルをセーブした後で再度インストールを初めから実行してください。

```
The target directory /home/aids already exists.
WARNING: All files will be removed from /home/aids !
Do you want to continue the installation <y/n>?
```

10. CD-ROM より、リリースがインストールされます。

```
Source Directory: /cdrom/accell_ids
Target Directory: /home/aids
Install is now copying XXX files from the unwriteable directory.
This may take a while. A dot will be printed for each file copied.
```

11. リリースのコピーが完了しますと、インストール・ユーティリティは、リリース使用権をライセンスする準備を行います。

UPDATE-KIT のインストール

本リリースのインストール完了後、インストール先のディレクトリの下に "UPDATE" という名前のディ

レクトリが存在する場合は本リリースにはアップデートキットが付いています。

本リリースをご使用の前に必ずアップデートキットをインストールして下さい。

アップデートキットのインストール方法につきましては該当するアップデートキット用のリリースノート、または、"UPDATE" ディレクトリの下に "README.xxxx" (xxxx はバグフィックス番号)をご参照下さい。

README.xxxx ファイル内に、「アップデートキットに対してライセンスの付与が必要」である旨の説明がある場合は対象ファイルについて `bin/instlic` を実行してライセンスを付与します。

下記に Accell/Manager(`bin/AMGR`)にライセンスを付与する例を示します。

```
# cd $UNIFY/..  
# bin/instlic -f install/license.key bin/AMGR
```

正常に終了した場合は、次のメッセージが表示されます。

```
License code 'XXXXXXXXXXXXXXXX' has been installed for executable 'bin/AMGR'.
```

Unify DBIntegrator Client のインストール

セットアップディスクの作成について

Accell/IDS ELS リリース・メディアには、ODBC Client 用のソフトウェアが用意されています。リリース・ディレクトリ "odbc_clients" 下のファイルをコピーして、セットアップディスクを作成します。

```
client32 : Win32 対応版(Windows95/98/NT)  
clientJava : JDBC 対応版
```

リリースをテープ媒体でご購入の場合：

テープからリリースをインストール後、必要なファイルを、Windows マシン上のフロッピーディスク (FD)へコピーします。

リリースを CD-ROM 媒体でご購入の場合：

リリースの CD-ROM を Windows マシンの CD-ROM ドライブへ挿入し、フロッピーディスク (FD)へ必要なファイルをコピーします。

例えば、Windows NT へ Unify DBIntegrator Client をインストールする場合は、ディレクトリ `odbc_clients/client32` にある次のファイルをコピーします。

FD の容量によっては、2 枚の FD を準備し、disk1 と disk2 に分けて作成する必要があります。

```
disk1/SETUP.INS
disk1/_inst32i.ex_
disk1/_isdcl.exe
disk1/_setup.dll
disk1/_setup.lib
disk1/custom.ini
disk1/disk1.id
disk1/setup.exe      (インストール実行ファイル)
disk1/setup.ini
disk1/setup.pkg
disk1/udbclt.1
disk1/uninst.exe
disk2/disk2.id
disk2/udbclt.2
```

別法として、セットアップディスクを作成せずに、リリースの CD-ROM を Windows マシンの CD-ROM ドライブへ挿入し、直接 setup.exe を起動することにより、Client 用ソフトウェアをインストールすることも可能です。

詳細については、マニュアル「Unify DBIntegrator for UNIX: Installation and Configuration Guide」(PDF ファイル名: DBI_I_Ux.pdf) の「2 章 Unify DBIntegrator Client のインストール」を参照して下さい。なお、Unify DBIntegrator マニュアルに関しては、リリース・ディレクトリの“odbc_doc”の下に PDF ファイルにて、ご提供しておりますので、そちらをご覧ください。

```
DBI_I_Ux.pdf : 「Unify DBIntegrator for UNIX: Installation and Configuration Guide」
DBI_A_Ux.pdf : 「Unify DBIntegrator for UNIX: Administrator's Guide」
```

以上